

臨床研究等の情報公開

研究課題名	好中球減少患者における抗好中球抗体の検出と特性に関する検討
研究機関	広島大学病院、青森市民病院 外 178 施設 (2025 年 3 月 10 日時点)
研究内容	好中球減少症はさまざまな原因によって引き起こされますが、その一つとして免疫性好中球減少症があり、とくに小児期に多くみられます。 免疫性好中球減少症において診断のために重要なのは抗好中球抗体の測定です。抗好中球抗体の測定法には様々なものがありますが、どの測定法が最適かは分かっていません。抗好中球抗体を複数の方法で測定し、どの測定方法が良いか検討し、また検出性能の向上を行うことが研究目的の 1 つ目です。 免疫性好中球減少症のお子様について、感染症の重症度やかかる頻度がどのくらいか、予防的に抗菌薬を使った方が良いのか、どのくらいで治っていくのかといった点についての情報は不十分です。患者さんの臨床情報をまとめて免疫性好中球減少症の患者さんへのより良い治療法を見つけることが研究目的の 2 つ目です。
実施期間	実施許可日～2035 年 3 月 31 日
対象者	実施許可日から 2029 年 3 月 31 日までに当院小児科を受診し免疫性好中球減少症が疑われた患者さんで、本研究に同意いただける方。
実施方法	・研究の方法 1) 文書により説明を行い書面で同意をいただきます。 2) 採血時に研究用として 2mL の血液を増量して採取します。 3) 採取した血液と患者さんの臨床情報を誰のものかわからないよう個人情報を加工して広島大学病院小児科へ郵送します。広島大学病院小児科と日本赤十字社とで協力し、様々な方法を用いて患者さんの血液中の抗好中球抗体を測定します。採血を行ってから 1 年後、2 年後、3 年後、4 年後、5 年後に追加の臨床情報を広島大学病院小児科へ郵送します。好中球数が回復もしくは他の病気と診断された場合はその時点で追跡調査は終了します。最終的に広島大学病院小児科にて患者さんの臨床情報をまとめます。 ・当院診療録の情報のうち、生年月日、性別、発症時期、検体採取時期、基礎疾患、発症時の併存感染症や合併症、検出された微生物病原体名、血液検査データなどについて、標記研究課題実施のために利用します。 ・個人情報は研究責任者が厳密に保管し、また対象者を識別できないように個人情報を加工（符号化）した試料・情報のみを扱うことにより個人情報の保護を図ります。本研究により得られたデータは本研究目的以外

	には用いないこととします。本研究により得られた成果は学会・学術専門誌・データベースなどを通じて公表されることがありますが、その際個人情報公表されることはありません。
参加撤回の自由	同意いただいた後に同意を撤回することもできます。その場合、診療において不利益となることはありません。ただし、その時点で既に研究成果公表済みの場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますのでご了承ください。
問合せ先	研究責任者：小児科部長 榎谷 遥香 〒030-0821 青森市勝田一丁目 14 番 20 号 青森市民病院 小児科 Tel：017-734-2171（代表）